

平成30年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 神戸市建設局下水道部		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 神戸市建設局下水道部管路課管路係	
代表者氏名 下水道部長 石原 茂		築地 美由樹 TEL : 078-322-5457, FAX : 078-322-6091 MAIL : gesui_chousa@office.city.kobe.lg.jp	
部門名 行政部門	事例名 「災害時こまらんトイレ！」のPR活動		
事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等挿入して下さい） 神戸市は平成7年の阪神・淡路大震災時、断水によってトイレが使用できなくなったことなど、不便・不衛生な状態が続いたことを踏まえ、指定避難所である小・中学校を中心に、水洗で衛生的に利用できるマンホールトイレの整備を進めてきた（60箇所/300基の整備が完了。地域防災計画上の進捗率100%）。 しかし、平成28年度に実施した調査の結果、備蓄管理者（学校教頭）の約半数が使用方法を把握していないなどの問題が明らかとなったため、平成29年度より、マンホールトイレ愛称の決定、利用マニュアルやPR動画、看板やシールの作成、配布などのPR活動に取り組んでいる。			
① 愛称の決定 市民に親しみを持ってもらい、効果的なPRを行うことを目的に、マンホールトイレに愛称を付けた。市民アンケートを実施し、その結果を踏まえ、「災害時こまらんトイレ！」（以下、「こまらんトイレ」という。）を愛称に決定した。		 <p>ロゴ</p>	
② 動画の作成 こまらんトイレの概要を広く理解してもらうことを目的に、上屋組立動画を作成した。詳細な組立方法の説明は別途利用マニュアルを作成することとし、3分程度の短い動画としている。なお、作成した利用マニュアル（上屋組立手順説明書）、組立動画は、本市HP上にPRサイトを作成し、当該サイト上に掲載していると共に、Youtubeにも公開している。		 <p>組立動画（抜粋）</p>  <p>PRサイト QRコード</p>	
③ 看板・シールの作成・設置 学校教頭にこまらんトイレについての知識があまりない、土砂に埋没しているなど、管理が悪いところを主な対象とし、各こまらんトイレ整備箇所付近にA3用紙をラミネート加工した簡易的な看板の設置を進めている。あわせて、学校入口付近や職員室入口等、一般市民の目に留まる場所へ貼り付けしてもらうことを想定し、こまらんトイレ設置避難所であることや整備箇所が一目でわかるシールの配布も行っている。		 <p>看板デザイン</p>  <p>シール</p>	
エントリー事例の特徴			
<ul style="list-style-type: none"> PRサイトのQRコードを看板やシール等に掲載することにより、広く一般に対して周知が可能。 看板の設置やシールの貼付により、整備箇所が明瞭になり、上部に物を置くことができなくなるほか、PCやスマートフォンがなくても不特定多数の避難者それぞれが整備箇所を一目で確認できる。 看板デザイン、制作及び動画の作成は職員自身が行っており、費用をかけずにPRできる。 これらの改善への取組は、日本トイレ研究所「自治体のトイレ対策例」や国交省「マンホールトイレ整備・運用のためのガイドライン」（2018年度版）にマンホールトイレの先進事例として紹介されている。 			
付属資料の提出	あり ・ なし（どちらかに○）		